

広報

# いちき串木野

R8. 2. 20 発行

2

vol. 244

魅  
せる  
熱  
い  
冬

神  
村  
学  
園

特集

- ①神村学園闘いの記録
- ②オンライン手続き

# 躍動!! 神村学園高等部男子・女子サッカー部

## 夏のインターハイに続き、初の選手権優勝!!

12月28日～1月12日まで開催された第104回全国高校サッカー選手権大会で神村学園男子サッカー部が初優勝を果たしました。高い個人技術とボールを奪われた瞬間からの即時奪回の徹底などを組み合わせたチーム力で、夏のインターハイ優勝に続き、史上6校目の夏冬連覇となりました。

### 男子 サッカー部

神村学園男子サッカー部の戦歴

2回戦	vs 東海学園	● 6 - 0
3回戦	vs 水口	● 4 - 0
準々決	vs 日大藤沢	● 4 - 1
準決勝	vs 尚志	● 1 - 1 (PK)
決勝	vs 鹿島学園	● 3 - 0



## 堂々の2年連続準優勝

12月29日～1月11日まで開催された第34回全国高校女子サッカー選手権大会で、神村学園女子サッカー部が2年連続の準優勝を果たしました。準々決勝で昨年敗れた藤枝順心に勝利しましたが、決勝では九州対決となった柳ヶ浦に敗れ、2年連続の準優勝となりました。監督、選手の悔しさが募る表情が印象的でした。

### 女子 サッカー部

神村学園女子サッカー部の戦歴

2回戦	vs 松山東雲	● 17 - 0
3回戦	vs 大阪学芸	● 3 - 2
準々決	vs 藤枝順心	● 1 - 1 (PK)
準決勝	vs 鹿島学園	● 3 - 0
決勝	vs 柳ヶ浦	● 0 - 1



#### パブリックビューイング開催

男女サッカー部のそれぞれの決勝戦を市民文化センターで放映しました。会場には多くの市民の皆様が駆けつけ選手の戦いにエールを送っていました。



#### 男女サッカー部の記念パレード開催

男女サッカー部の活躍を記念して、2月28日(土)、旭町ロータリー周辺で、パレード・セレモニーを開催予定です。詳しい内容は、17ページをご覧ください。



## 監督 & 選手インタビュー



男子サッカー部  
有村 圭一郎 監督

— 今大会の結果を受けて  
国立の舞台に立ち、6万人の大観衆の前で優勝できたことを、心からうれしく思います。応援して下さった皆さんの声が、確かに選手たちの力になりました。また、学校の教育理念でもある人柄教育・個性教育を、サッカーを通して実践してきた積み重ねも、この結果につながったのだと感じています。

— 今後に関して  
目標は国立に行くことではなく、国立で勝つこと。そしてその先には、オリンピックやワールドカップで活躍する選手を輩出するという大きな夢があります。日本一は通過点に過ぎません。鹿児島で育った誇りを胸に、これからも応援していただけるチームを目指し、終わりなき目標に挑み続けていきたいです。



女子サッカー部  
寺師 勇太 監督

— 今大会の結果を受けて  
率直な思いとしては、2年連続準優勝ということで悔しい思いが強いです。ただ、地元に戻ってきて、皆さんの声援を受けて、少し気分が晴れ、また来年に向かって頑張ろうと思えました。

— チームづくりで大事にしていることは？  
緊張する大舞台で、力を発揮するためには、いかに日常生活やトレーニングを大事にできるかなので、そこを見るように心がけています。

— まちに対する思い  
このまちで育ててもらった恩恵を感じていて、ここで監督をさせてもらうのも運命を感じています。サッカーを通じてこのまちが有名になってくれるのは光栄なことですし、一市民としても誇りです。

男子サッカー部  
中野 陽斗 主将



— 今大会の結果を受けて  
支えてくださった先生方や多くの方々に、結果で恩返しができたことをうれしく思います。僕たちは常に、自分のためではなくチームのため、人のために戦うことを大事にしてきました。保護者の皆さんや、ここまで育ててくれた監督・コーチ、学校の皆さんの思いを背負ってピッチに立つ——その「誰かのために」という気持ちが、今回の優勝につながったのだと思います。

— 今後に関して  
有村先生から言われ続けた「強い鹿児島を取り戻す」という思いを胸に、応援してくれる方々や小さなサッカーファンの子どもたちに優勝する姿を届けられたことは、きっと未来にも繋がっていくと思います。

女子サッカー部  
舟之川 桃果 主将



— 今大会の結果を受けて  
結果としては準優勝でしたが、やはり最後に負けると悔しさが残ります。私たちが日本一をとっていただければ男女揃っての優勝という史上初の快挙を成し遂げることができたので、それができず皆さんのご期待に添えられずに申し訳なく思っています。大会期間中も色々な形での応援の後押しをいただきました。

— 今後に関して  
去年、今年と同じ舞台で同じ悔しさをさせてしまった後輩たちは来年必ず日本一を取ってくれると思いますので、これからも女子サッカー部をよろしくお願ひします。



# オンライン手続きポータルサイトオープン!!

～もっと便利に、もっと身近に～

市では、行政手続きの利便性向上を目指し、オンラインで利用できる手続きを順次増やしてきました。この度、市のオンライン手続きをもっと身近で、便利にご活用いただくために、利用可能な手続きをまとめた『オンライン手続きポータルサイト（オンライン手続き窓口）』を開設しました。

## どんな手続きがオンラインでできるの？

現在、妊娠・出産、児童手当、介護保険、引越し、地方税など様々なカテゴリーの手続きをポータルサイトに掲載しています。今後もオンラインで利用できる手続きを順次拡大していく予定です。

(例)

### 妊娠・出産



- ・母子健康手帳  
交付予約
- ・産後ケア事業申込

### 児童手当



- ・認定申請
- ・消滅届

### 介護保険



- ・認定申請
- ・再交付申請

### 引越し



- ・転出届
- ・犬の登録事項変更

### 地方税



- ・軽自動車税
- ・小型二輪の申告納付
- ・個人住民税申告

## ここが便利！オンライン手続き3つのポイント

### Point 1



24時間365日、いつでも  
どこでも手続き可能！

### Point 2



来庁不要！  
待ち時間ゼロでスムーズ！

### Point 3



手書き不要のペーパーレス  
で簡単・スピーディー！

## 利用方法

- ① 市ホームページのクイックメニュー（オンライン手続き窓口）  
または、市公式LINEの市内メニュー（くらし①>届出・証明）  
からアクセス
- ② 目的の手続きをキーワードやカテゴリーで検索して選択

※手続きによってはマイナンバーカードが必要です。  
※窓口対応時間内は、市役所窓口も引き続きご利用できます。

● 問合せ 総務課 ☎33-5633



市ホームページ



市公式LINE

# 引越したら住民票を移そう

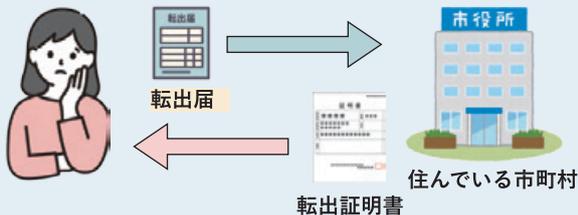
～正確な住所の届出が必要です～

住所の異動届は、各種行政サービスや選挙人名簿への登録などにつながる大切な手続きです。また、マイナンバーカードの住所等は、最新のものにする必要があります。卒入学、就職、転勤等による引越しで住所が変更になる方は、必ず期間内に正確な住所の届出を行ってください。

## 住民票の手続きは簡単です！

### 引越し前

#### ① 転出届を提出し、転出証明書を受け取る



### 引越し後

#### ② 転出証明書を添えて、転入届を提出



※マイナンバーカードを使って転出の手続きをされた方は、転出証明書は必要ありません。  
※正当な理由なく住民票の異動の届出をしない場合、5万円以下の過料に処されることがあります。

## 引越し手続きはマイナポータルで！

マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナポータルを通じて転出届の提出から転入（転居）の予約まで一括して行うことができます。

### STEP 1

オンラインで  
転出届を提出できる



オンラインで転出届の提出ができるため、引越し前の自治体窓口の来庁不要。

### STEP 2

オンラインで  
転入予定日等を連絡



転入先の自治体窓口での手続きは必要ですが、事前に来庁予約が可能に。

### STEP 3

対面で  
転入届を提出



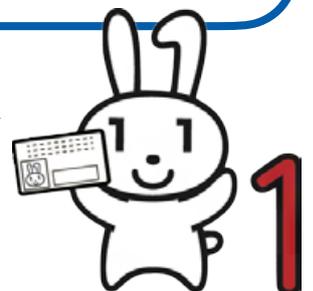
必要な手続きや持ち物をマイナポータル上で事前確認でき、スムーズに手続き可能。

### 市来庁舎での異動受付業務終了

2月24日をもって市来庁舎市民生活課での住民異動届の受付が終了します。住所変更の手続きは、串木野庁舎市民生活課窓口または、「引越し手続きオンラインサービス」（右の二次元コード）をご利用ください。

●問合せ 市民生活課 ☎33-5611

進学で引越す学生さんも住所の変更が必要だよ





「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市では、食の魅力発信や食に関するプロジェクト等に積極的にかかわり、市と一緒に「食によるまちづくり」を推進していく仲間として、2022年度から個人や団体を『食のまちPRパートナー』（以下：PRパートナー）として登録しています。

## 高畠地区で育った柑橘の可能性を広げ、世の中へ発信し続ける ～ 食のまちPRパートナー 西果樹園 西美香さん～

Text & photo Yasutoshi Kami

今回ご紹介するのは、『西果樹園』の西美香さんです。

### 一人の農家として、地域のためにできること

西さんは静岡県で生まれ育ち、結婚を機に、本市へ嫁いできました。転機となったのが十数年前に参加した農水省の女性農業者育成塾でした。



「それまで深く農業に携わることのなかった私にとって、農業の経営や地域に主体的に関わる女性たちの姿は、大きな刺激でした。一人の農家として地域の中で何ができるか。そう考えるようになったのは、この育成塾での経験がきっかけでした。その後、農業女子プロジェクトにも加わり、全国や県内各地で奮闘する女性農業者との交流を通して、自分たちが育てている柑橘の魅力を外に向けて発信する大切さを意識するようになりました」

### ネガティブを武器に変え、世の中へ発信していく

西果樹園では年間を通して複数の柑橘を育てています。その中でも、西さんが特にブランディングに力を入れているのがサワーポメロです。課題として、知名度の低さと「酸っぱい果物」という印象が先行している状況があり、それを打開できないか模索しているといいます。



「サワーポメロは収穫してすぐよりも、一定期間置いてから食べることで甘みが増してきます。甘さをしっかり感じたい場合は、2月中旬以降がおすすめの食べごろです。また、旬が短い果物なので、季節に関係なくPRができる加工品づくりにも力を入れており、その中で誕生したのがサワーポメロのシロップです。加工品があることで、果実のない時期でもサワーポメロ

の存在を伝えられるようになりました」

### 可能性を模索していく先にあるもの

西果樹園のモットーは、先代から続く「安心安全の果物づくり」。果物づくりのこだわりについてこう語ります。

「果実づくりで特に重要なのが、水の管理です。甘さが求められる大将季では、灌水の調整が糖度に大きく影響します。水を与える量やタイミングを調整する作業は難しく、味を左右する重要な工程です」

「現在の課題のひとつが、規格外品の活用です。見た目に傷があるだけで味は変わらない果実を、どのように生かしていくか。市内の異業種の皆さんとの連携や小ロットでの加工など、あらゆる可能性を探りながら模索しているところです。今後も高畠地区で育つ柑橘の魅力を地域内外問わず、発信し続けていきたいと思っています」

これまでのおいしい情報、コラムの続きは右の二次元コードからご覧ください。



公式note

# わがまちの 輝きびと

## vol.3 蔵整骨院 船蔵 亨太 さん



このまちで活躍する輝きびとを紹介します。今回は、整骨院を営みながら、トレイルランやフルマラソンのランナーとして活躍する船蔵亨太さんをご紹介します。

本市栄町で蔵整骨院を営む船蔵亨太さん。子供の時から父親のマッサージをしていたことや、バスケットボールで負傷した際に整骨院に通って、回復できたことに感銘を受けた経験から、整体師を目指しました。10年ほど前に蔵整骨院を開業し、日々患者さんのお悩みに寄り添い、支えています。

本業の整体師として励む傍ら、船蔵さんはランナーとしても活躍しています。最初は前職の上司から無理やり誘われ、トレイルラン50kmの大会をなんとか走り切ったそうですが、以後どハマリして、多くの大会にエントリーしていきました。

船蔵さんは「大会に出ることなどによって人の輪が広がっていき、今では全国各地に友達がいいます。また、毎日のランニングで生活が充実しています」と走りの魅力を語ってくれました。

船蔵さんは現在、冠岳のトレイルランのコース整備や大会運営などを積極的に担っており、ゆくゆくは本市でマラソン大会を開きたいという夢を聞かせてくれました。



走ることでできた縁を大切に、活動されています。▶

◀仮装をして、フルマラソンに参加。鹿児島マラソンにもエントリーしています。



### 施設情報

- 施設名 蔵整骨院
- 住所 栄町4-1
- ※詳細は、Instagram (右の二次元コード) から



地域をもっと面白くしたい人、あつまれ!

いちき串木野

# ローカルチャレンジ塾

第4回

若者の挑戦を応援する「いちき串木野ローカルチャレンジ塾」。

この取り組みは、地域の魅力を活かしながら、起業やキャリアづくりに挑戦する“ローカルイノベーター”を育てる一年間の育成プログラムです。

第4回講座では、株式会社ZEN代表取締役・大谷幸輝氏を講師に迎え、SNSを活かした地域発信の考え方と実践について学びました。

自社で企画・運用する『徳島グルメ』を総フォロワー7.3万人超のメディアへと育ててきた経験をもとに、地域の魅力を日常の視点から捉え、発信につなげるヒントが紹介されました。

また、写真や動画を活かした伝え方の工夫や、周囲を巻き込みながら発信を育てていく姿勢にも触れられ、地方で情報発信に取り組む塾生にとって、次の一步を考えるきっかけとなる回となりました。

いちき串木野から生まれる若者たちのチャレンジを、今後もHPやInstagramで発信していきます!



学びの様子  
ちょっと覗いてみませんか?  
気になる方はぜひチェック!

